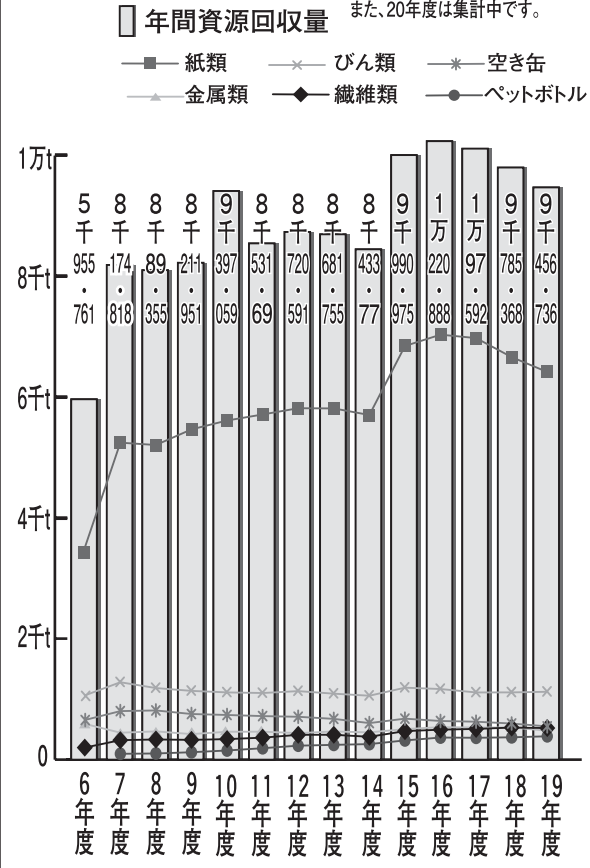


さらなる分別の徹底で資源化を…1～2面
ひとり親家庭の就業支援……………3面
全中学校区に学校支援地域本部設置……4面
15万人のひろば……………8～9面
おしらせ・5月の相談日……12～13面
5月の休日当番医……………16面

■全体の資源回収量と資源の内訳

※15年度からは合併後の数字です。
また、20年度は集計中です。



市では、平成7年度から「ごみ出しルール」を改正し、皆さんとともに、ごみ減量に取り組んでいます。20年度に収集したごみと、処理施設に持ち込まれたごみの総量を集計した結果、「一人一日当たりのごみ排出量」が、ルール改正以来、過去最少となりました。これも、廃棄物減量等推進員の草の根的な活動と、皆さん一人ひとりが、日ごろから高い意識を持って、ごみ減量に取り組んでいただいている成果です。しかし一方で、資源回収量が17年度から減少傾向にあります。さらなる分別の徹底で、資源化に取り組んでいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

「ごみ出しルール」改正以来 一人1日ごみ排出量が過去最少に さらなる分別の徹底で資源化を

私たちの日常生活では、野菜くずや資源にできない紙くずなどの可燃ごみをはじめ、ビニールなどの不燃ごみ、ペットボトルや空き缶などの資源ごみなど、さまざまな不用品が毎日のように出てきます。

これらの多種多様なごみの処理に費用がかかることや、市内に最終処分場がないことなどから、できる限りごみの排出量を減らすため、市では、平成7年度に、指定ごみ袋制度の導入や分別の徹底、集団資源回収の実施など、ごみ出しルールを改正し、皆さんとともに、「ごみ成長ゼロ」を目指し、ごみ



各地域では廃棄物減量等推進員による資源分別の説明も

資源回収量が減少傾向に

減量に取り組んでいます。

ごみの資源化を進めるために、皆さんのご協力により、びん類やペットボトル、空き缶、雑誌やダンボールなどの紙類、洋服などの繊維類、なべや自転車などの金属類を、集団資源回収しています。

また、市内の店舗にもご協力いただき、発泡トレイや牛乳パックなど、資源として再利用できるものを回収する場所を増やすなど、平成7年度から16年度まで、着実に資源回収量を伸ばしてきました。